

ご参考資料

ハイアールの冷蔵庫と洗濯機が生産シェアで世界1位に
～ 富士経済「グローバル家電市場総調査2009」より～

ハイアールジャパンセールス株式会社(大阪府大阪市、代表取締役:田中利平)が日本で製品を販売する家電メーカー、ハイアール(Haier)は、本年11月26日に市場調査会社の株式会社富士経済(東京都)が発刊した「グローバル家電市場総調査2009」のワールドワイド生産台数およびメーカーシェアランキングで、家庭用冷蔵庫、家庭用洗濯機分野でそれぞれ1位になりました。

富士経済の調査報告によると、世界市場におけるハイアールの2008年の家庭用冷蔵庫の生産実績は11,750,000台で、生産台数をもとにした市場占有率は12.6%。一昨年に発表された「グローバル家電市場総調査2007」の2位から首位になりました。同じく世界市場におけるハイアールの2008年の家庭用洗濯機の実績は12,660,000台で、生産台数をもとにした市場占有率は17.2%。グローバル家電市場総調査2007の2位から首位になりました。

北米、欧州、日本を重点市場としていたメーカー各社が金融危機の影響を受けて販売・生産実績を落とした中で、ハイアールは、生産拠点の中国と、アジア地域や欧米各国を結ぶ流通ネットワークを活かし、生活水準の向上に伴うアジアの新興国の市場拡大や、中国政府による内需刺激策に伴う需要に応え、中国以外にもその他のアジア地域や北米、西ヨーロッパでも生産展開を進めてきました。また、ハイアールは、各国の消費者ニーズや文化に適した製品を一から開発することを強みとし、日本国内で販売する製品も「くらしにフィットする家電。ハイアール」をブランドメッセージとし、機能・デザイン・価格など日本市場のニーズに応えた製品を開発しています。

ハイアールジャパンセールスでは、現在、単身者・パーソナルユース向けにニーズのある小型サイズを対象に、省エネ性能の高い冷蔵庫を販売しており、全国の有力家電量販店販売実績を集計するGfK Japanが実施した調査結果で、50ℓ以上100ℓ未満の家庭用冷蔵庫の2008年度(2008年4月～2009年3月)販売数において、ハイアールブランドが日本国内シェア1位となっています。洗濯機分野では、全自動洗濯機やドラム式洗濯機が日本の洗濯機市場の主流となっている中、当社は、都市部以外の消費者やホームセンターなど流通関係者の需要を受けて、大容量の二槽式洗濯機なども販売しています。

更に、グローバル家電市場が新興国向けの販売を強化する中、ハイアールジャパンセールスでは、2010年には、日本市場でも、ファミリー層向けの冷蔵庫や洗濯機などの中級機種の販売を開始する予定です。これに伴い、ハイアールでは、ハイアールジャパンセールスとハイアールグループ本社の設計開発チームによって日本市場向け製品を開発予定です。

ハイアールジャパンセールス株式会社およびハイアール社について:

ハイアールジャパンセールス株式会社は、中国山東省青島市に本社を置くハイアール社製品の日本における販売会社として2002年に設立されました。ハイアール社は、1984年に冷蔵庫メーカーとして事業を開始して以来、徹底した品質とサービスへのこだわりのもと、90年代よりエアコン、洗濯機、小型家電、黒物家電へと事業の幅を広げてきました。世界各国の消費者ニーズや文化に適した製品を一から開発することを強みとし、2009年には白物家電ワールドワイドブランド販売台数シェア、冷蔵庫と洗濯機の世界販売台数シェアでそれぞれ1位¹にランクインしています。日本国内で販売するハイアール製品も、今年度より「くらしにフィットする家電。ハイアール」をブランドメッセージとし、機能・デザイン・価格など日本市場のニーズに応えた製品を開発しています。

¹ワールドワイドブランド販売台数シェア(2009年実績)2009年12月 Euromonitor 発表。